



花のある生活

トミーの寄せ植えプロデュース
文：富山 昌克

寄せ植えをこれから始めてみたい！という初心者を対象に、簡単にできる寄せ植えを紹介するコーナーです。
※不定期で連載します。

第1回

春満開！お日様色の寄せ植え

黄色は、菜の花やたんぽぽといった春の花のイメージがありますね。

今回は、「同一調和」という、同じ色で濃淡の違う花を複数組み合わせる寄せ植えを紹介します。同一調和の寄せ植えはうまくまとまるので、是非チャレンジしてみてください。

鑑賞期間

5月中旬まで

水やり

土の表面が乾いたら、底から流れ出るまでしっかりと

置き場所

日当たりのよい場所

植え込み図



ポウル型コンテナのサイズ：30cm

花材の選び方

寄せ植えには鑑賞期間があります。シーズンが過ぎすべて枯れると、初心者の中には、もったいないと感じたり、才能がないと勘違いする方もいらっしゃるようです。

今回紹介する寄せ植えは、しばらくすると暑さに強いエニシダだけが残り、ほかの花苗は枯れます。自信を無くさないためにも、花材は、1株は必ず残り、その植物だけのコンテナでしばらく楽しめるように選定しましょう。



A エニシダ

鮮やかな黄色の花を咲かせる。耐暑性・耐寒性があり、やせ地でも育つ。



B ハナカンザシ

オーストラリア原産のキク科の多年草。寒さに強く夏の高温多湿に弱い。



C ラナンキュラス

重なった、明るい花弁が魅力的な秋植え球根。



D プリムラ・マラコイデス

中国原産の一年草。株全体に白い粉がつくことから、ケシヨウザクラ(化粧桜)という和名に。



E プリムラ・ジュリアン

多年草だが、暑さに弱い品種が多く、一年草として扱われる。



1

コンテナの底が見えなくなるように鉢底石を入れ、次に園芸培養土を入れます。



2

コンテナにポットのまま並べ、植える位置を確認します。次にポットから取り出し、底の根の一部をちぎり、コンテナ内に並べていきます。



3

苗と苗の間に園芸培養土を入れていきます。鉢底からの排水の色が茶色から透明に変わるまでたっぷり水やりをしましょう。



“トミー”こと
富山先生をご紹介!

とみやま まさかつ
富山 昌克 さん

藤井寺市在住の園芸研究家。テレビやラジオへの出演や、学校での園芸教育・講演などを通して、園芸の普及活動をされています。

平成24年から藤井寺市緑化推進協議会委員、平成25年から藤井寺市景観審議会委員として、藤井寺市のまちづくりにも積極的に参加されています。